

Wellness Monthly Report

2019.11.30

No.17

終焉を迎えたスーパーフードブーム
機能性の訴求強化へ

総力特集

スーパーフード

特集

スポーツニュートリション



メディサイエンス・エスポア(株)

選手やジムへと広がる『WOX』 2020年に高山工場稼働

同社が販売する酸素補給水『WOX』は累計300万本を突破した。健康食品・化粧品向けの原料供給にも注力。国際大会などに出場する選手も使用しており、そこを起点にさまざまな競技選手へと広がっている。製品を特徴付ける成分を通常よりも多くクリアに溶解できるという特長から、フィットネスジムやスポーツ選手の間では、『WOX』にサプリメントを溶解させて飲むスタイルが多いという。

選手はサプリメントを 入れて使用

『WOX』（ペットボトル入り、300・500ml）は、水分子で酸素分子を包み込む（イメージ）ことで、水中に溶け込ませた酸素補給水（日米特許取得済み、物質特許申請中）。開封後、振動や熱を加えても、酸素が高い濃度で安定して水に含有されているために、身体に酸素を補給できるという点を特長とする。

同社の松本高明社長は、「幅広

い競技選手の間で『WOX』が広がっている」と話す。

発端は、著名なアスリートがサプリメントを入れて飲んでしたこと。そのスタイルが大会に出場する選手らの間で広がったという。

今ではさらに競技の幅を広げ、ゴルフ、野球、相撲、水泳、体操、マラソン、トライアスロン、登山、フリーダイビング、ラグビー、自転車などの選手の間に波及してきた。また、富士山の山小屋にも配荷されている。

流通小売を見ると、ここ数年で、大手スポーツ用品メーカー、フィットネスジムなどにも『WOX』の導入が進んだ。

松本社長は、「『WOX』の構成成分は水と酸素のみ。国際大会に臨む選手も使用しており、過去にケース単位で国際大会に出場中の選手に提供したときには、主催者である某スポーツ用品メーカーが安全性などを確認した上で、選手に供給した経緯もある」と話す。

新工場は環境に配慮

同社は千葉製造工場のほかに『WOX』（3号機）を岐阜県高山市へ移送し、2番目の工場として、2020年6月の本稼働に向けて調整を進めている。

高山工場では、フルオート製造システムに変えるなど環境に配慮

した。輸送も今後貨物列車などを使用することで、CO₂排出量の削減と環境への配慮を重視する方針だ。1号機のメンテナンスによる停止時には、代替で2号機を稼働させたが、総生産量を増やし、さらに1号機よりも酸素含有量を10%高めた『WOX』の製造を成功させるなど、常に効率の良い生産体制を目指している。

海外展開に拍車

高山工場の稼働により、松本社長は「海外展開に拍車がかかる」と期待する。海外進出に向けて、同社は早くから国内外での特許を取得してきた。国内では5つの製造特許を取得済みで、米国でも取得済み。中国でも近く取得する見込み。物質特許についても、米国から順番に取得する予定と話している。

COMPANY INFORMATION

所在地：神奈川県川崎市幸区新塚越

1-2(本社)

TEL：044-511-2214

FAX：044-533-7438

URL：<https://ms-espoir.co.jp>

事業内容：新製品と新基材の開発、酸素補給水『WOX』の製造販売、『WOX』を使用した化粧品や酸素補給器の開発と販売、化粧品原料の製造販売など



幅広く展開する酸素補給水『WOX』